

除染

美しい飯舘村を取り戻すために



▲草野行政区東側対象の住民説明会

来年度除染対象行政区への説明会 開催

来年度に除染を行う9つの行政区でも、「除染にかかる行政区住民説明会」が開催されています。9月17日から10月上旬まで説明会は行われます。その後、土地・家屋モニタリング調査での結果を踏まえた個別の除染計画が策定され、除染の同意取得が行われるようになります。

平成25年度除染対象行政区

- 草野（東側）
- 八木沢・芦原
- 宮内
- 関沢
- 大倉
- 長泥
- 小宮
- 佐須
- 蕨平

村内の本格除染始まる



▲除染廃棄物の仮々置き場造成のために除草するようす（二枚橋）

今年度予定されていた、本村の国直轄による本格的な除染作業が、9月25日から始まりました。除染作業が開始されたのは二枚橋地区で、作業を行う事業者は、環境省の作業を受注した大成建設・熊谷組・東急建設の共同企業体（JV）です。今後、他の行政区でも除染の同意取得を進め、順次、除染が行われるよう取り組んでいきます。安心・安全な飯舘村を取り戻すために、除染作業へのご理解・ご協力をお願いします。

食品等の放射能簡易測定の実施について

飯舘村では、村民の食の安全・安心の確保に向けて食品等の放射能簡易測定を行っております。測定を希望する場合は、事前のお申し込みが必要です。

◆測定できるもの

- ①食品（市販されているものを除く）…測定に必要な量 1kg
- ②飲用水（水道水を除く）…測定に必要な量 2ℓ
- ※持ち込み量が少ないものは正確な測定ができないため、お断りする場合があります。

◆測定品の持ち込み時の注意

- ①お申し込み後、上記の測定に必要な量を飯舘村役場本庁舎にご持参ください。
※測定品を入れてきた袋などに氏名、連絡先、品名、採取日、採取地を記載。
- ②食品の場合は、必ず下処理をしてお持ち込みください。
下処理…洗って泥を落とし、外皮があるものは皮をむき、みじん切りにしたもの。
※下処理をしていないもの、下処理ができないものは測定をお断りする場合があります。
- ③飲用水の場合、2ℓをペットボトルに入れてご持参ください。

◆測定結果について

- ①測定後、依頼者に郵送いたします。
※測定結果はあくまでも参考データです。各種証明とはなりません。
- ②測定対象核種は放射性セシウム134・放射性セシウム137のみとなります。
- ③測定結果は順次ホームページで公表いたしますので、ご了承のうえお申し込みください。

○お申し込み・お問い合わせ 復興対策課 除染係 ☎024-562-4236



農政関係

シウムの移行の実証事業も行っています。本格除染は、平成24年度実施予定の村西半分12行政区の除染作業同意取得に向けて住民説明会を開催し、現在、除染同意取得に取り組んでいます。

また、平成25年度実施予定の東半分の9行政区に対しても来年3月までに除染作業の同意取得等を完了し、次年度の除染作業が出来るように、今年の9月末から10月にかけて説明会を開催し体制を整えたいと考えています。

また、村単独事業の「農業生き

屋根瓦補修事業

屋根瓦の補修事業につきまして、今年度で事業を終了する予定です。今年度で事業を終了する予定ですので、取り落ちがないよう住民への周知に努めているところです。

村民避難状況

9月1日現在の県内避難は6141人で約92%、県外避難は529人で約8%の避難状況です。県内の市町村別避難者は、福島市3826人、伊達市580人、相馬市423人、南相馬市329人、川俣町511人、二本松市76人、国見町65人などとなっています。

村内での営業再開関係

7月17日の区域見直し以降、金融機関、ガソリンスタンド、自動車整備業、建具製造業など9事業所が国の許可を得て、村内で事業を再開しています。ほかに2件が申請しており、今後増えることが予想されます。

ふくしま産業復興企業立地補助金は、継続操業2社（菊池製作所、ハヤシ製作所）の雇用拡大計画が認められ、申請どおり補助金の内示を受けたところです。

仮設中学校

8月に完成し、2学期より運用を開始しています。9月6日には、多くの関係者を招き、開校式を開催しました。また、幼稚園増設工事、8月中に完成し、同じく2学期より使用開始しています。今後とも子どもたちの教育環境整備にご支援をお願いします。

夏休み中の子どものための体験事業・招待事業

15の企画に延べ360人余りが参加しています。

今年で3回目の「沖縄でのまじの旅」には45人の6年生が参加し、



▲村内営業再開事業者へ認定書を手渡す菅野村長

沖縄の歴史と自然を学んできました。同じく3回目の「未来への翼イタリヤ研修」事業には、中学生22人がイタリヤ・シチリア島の美しい村づくりを研修しました。招待事業として行われた「オーストラリア研修」には、中学生16人が参加し、西オーストラリアで現地の子どもたちとの交流やホームステイなど貴重な体験を積んでいました。いずれの研修も転校生にも呼びかけ、参加をしていただいています。

この他にも、全国各地から子どもたちに対するご支援が寄せられ、改めて感謝申し上げます。子どもたちには、今回の貴重な体験と全国からの支援を胸に、大きく成長してほしいと願っています。